

**自由研究セミナーab** 春・秋学期セット 水曜日第5時限 D305教室 担当：秋山 裕

1. 2012 年度履修者からの一言
2. 2011 年度履修者からの一言
3. 2010 年度履修者からの一言
4. 2009 年度履修者からの一言
5. 2008 年度履修者からの一言
6. 対外活動の記録(2004～2012 年度)

## 1. 2012 年度履修者からの一言

## &lt;経済学部2年&gt;

この授業のポイントは、計量経済学を学ぶと言うよりは、グループワークを行いながらレポート作成をすることにあると思います。もちろん計量経済学の初歩を使った分析方法は学びますが、苦戦するのは寧ろレポート作成の方で、グループでまとまりながら説得力のあるレポートを書くのは、思っている以上に大変です。三田に行くとそのようなグループワークをしていく事になるのですが、日吉でチャレンジできる数少ない機会を提供してくれる授業です。教科書を読んで計量経済学を学ぶというよりは、それを実際に用いて分析をし、グループワークの中でレポートにまとめるという作業をしたい学生におすすめです。

## &lt;経済学部2年&gt;

このセミナーの内容としては円ドルレートを予測する円ダービー、株のポートフォリオを組んで論文を提出するストックリーグという二本柱のイベントがあり、その知識補充として経済白書などを読みました。各々が決めたテーマを持って、それらに着目しつつ課題を作成していくので知識をつけつつ進めていくことができます。よくわからない語句も出てきますが、それも一緒に学ぶことができるので知識をつけながらグループで何かを作りたいという方におすすめです。

秋山先生、一年間ありがとうございました。

## &lt;経済学部1年&gt;

金融について実践的に学んでみたいという人にとって、この授業はとてもしゃがみのあるものになると思います。この授業では、語学や必修の科目と違って、答えが1つではないので、よりよいアイデアを求めて自ら考えて試行錯誤を重ねることが大切です。この作業を通して、データの集め方、エクセルの使い方などの様々な知識やスキルを身に付けることができます。また、チームで一つのレポートを作成するので、チームワークを体験することができます。自分の考えをメンバーと共有する難しさや作業の時間を短縮できるチームワークの便利さを知ることができ、今後のゼミ活動の参考になりました。チームで何かを成し遂げたいと考えている人にお勧めの授業です。

## &lt;商学部2年&gt;

2年生の1年間、一番時間を費やしたのはこの授業でした。私にとって、これほど印象に残る授業は他にありません。1年生までは、私は何のために学びたくて大学に入ったのだろうか？という疑問ばかりが浮かび、自分の大学生活に嫌気がさしていました。2年生でたまたまこの少人数セミナーについて知り、経済・金融の知識はほぼ皆無でしたが、新しいことに挑戦しよう！！と思って履修することにしました。履修してみると、履修者は経済学部の人ばかりですし、しかも多くが学術系サークルに入っているような、知識豊富で優秀な人たちが多かったのです。はじめは怖くて自分の意見を述べるのが出来ませんでした。ですが、だからこそ経済や金融についてももっと勉強しなくては！と自分に危機感を持たせることが出来ましたし、経済について興味がどんどん深まっていきました。また、前期は円ダービー、後期は日経ストックリーグと、グループでコンテストに参加するという事で、さらにやる気が出ました。知識以外でも、学んだことは多々あります。グループとして意見をまとめ結論を出すことの難しさ、相手が理解できる論文を作成することの難しさなど、普段の授業では絶対に学べないことを学びました。1年生までは、何のために知識を蓄積しなければならないのか、全然分かりませんでした。ですが、この授業でそれがとてもよく分かったような気がします。知識は単位をとるために蓄積するものではありません。知識は、今まで蓄積してきたものをフルに活用し、複合させ、現実から新たな発見をするために必要なのです。これは当たり前のことかもしれませんが、この授業は私にそのことを教えてくれました。感謝の気持ちでいっぱいです。残念ながら私はもうこの授業を受けることは出来ませんが、これからゼミに入るのがとても楽しみでわくわくしています。経済の勉強がつまらない、あるいは、何のために経済を学ばなければならないのか分からない、という方には是非この授業をお勧めします。

## &lt;経済学部2年&gt;

日経新聞が主催するコンテストに参加することを通じて、まず、日吉で勉強した経済学の知識をフル活用できるいいチャンスだと思う。今まで勉強してきた知識、実際使えないのではと思う学生が多いのではないだろうか。そういう人たちはこの授業を取るべきだと思う。さらに、先生の親切な指導や質問への回答も自ゼミ以外に味わうことはまずないだろう。おまけに、コンテストの参加を通して、チームワークやペーパーベースの使い方など、様々な知識やスキルを身に付くこと間違いなし。おすすめな自ゼミ！

## &lt;商学部2年&gt;

春学期は円ダービーを、秋学期はストックリーグを通して、グループワークでの実証分析やレポート作成を行うことができます。これらを通して、自らの主張にデータによる定量的な裏づけを行うというレポート作成方法の基礎を学べると思います。また、経済白書の輪読を通して、与えられたデータの読み方も学ぶことができます。受身の授業ではなく、経済や金融、実証分析に関する知識を積極的に吸収していきたい人への履修を強く勧めます。

## &lt;経済学部2年&gt;

日経新聞主催の二種類のコンテストにグループでレポートを提出します。レポートの内容は学期前半では為替予想、後半では擬似投資に関するものです。前期は国際経済、後期は日本経済について考えるきっかけになり、バランスの取れたカリキュラムになっていると思います。為替や投資について既に知識のある人はもちろんですが、興味はあるがそれについて考えたりレポートを書いたりするきっかけが欲しいという人にも受講をおすすめします。未習学習範囲については講義もありますし、基本的にグループワークですので、学習のモチベーションも保てると思います。日吉ではグループワークの機会が少ないですが、この自由研究セミナーは先生の面倒見が良いので、積極的に臨めば充実した良いグループワークの機会になると思います。

#### <経済学部2年>

この授業を実際の経済について学びたいという方には是非おすすすめします。マーケットに関する知識に不安があっても自主的に学習していくことで対応できますし、疑問点は先生が丁寧に解説して下さるので心配ないと思います。積極的に参加すれば必ず力がつので、迷っている方は、受講することをお勧めします

#### <商学部2年>

このセミナーでは、前期は円ダービー（円ドル相場の予想）、後期は日経ストックリーグに参加し、そのレポートを作成していきます。前期の円ダービーでは回帰分析のやり方などを習え、その他の授業などでも役に立ちます。また後期の日経ストックリーグは、様々な企業を知ることができ視野を広げることができるでしょう。1年を通じて様々なことを学べるセミナーですので是非履修をおすすめします。

#### <経済学部2年>

この自由研究セミナーでは、春学期の円ダービー（国際経済）、秋学期のストックリーグ（日本経済）を通して経済をより身近に感じようになりました。リアルな数字を扱って理論を自分たちで初めから作り上げていく。教科書を用いた座学で得た知識を「道具」に、実践的な経済学を学ぶことができます。最初は知識がなくても、分析の仕方も授業内で一から教えて頂けます。また、秋山先生からも個別に、様々な観点から丁寧なフィードバックを頂けるため、非常に有意義な90分を過ごせます。

少人数形式・グループワーク形式で進む本授業は、求めれば求めるだけ、それ以上の学びを得ることができます。実践的な勉強に意欲的に取り組みたい方は履修をお勧めします。

#### <商学部2年>

春学期は為替予測を行う円ドルダービー、秋学期はバーチャル株式投資を行う日経ストックリーグというコンテストにグループで取り組みます。この二つのコンテストに加えて今年度は通商白書の輪読も行いました。これらを通じて、計量経済学の手法を実際の場面でのように利用するのかということ、国際経済・日本経済の動向、株式投資を行った企業について詳しく学ぶことができました。授業では輪読またはグループの進捗状況を発表し、先生や他のグループのみんなからアドバイスや意見をもらう時間なので、レポートやポトフォリオ作成などのために授業外にグループで集まる時間もかなり必要でしたが、真面目に取り組むほど得られるものも多いです。知識面では先生が分かりやすく講義をして下さるので心配しなくても大丈夫です。グループワークができること、先生との距離が近いということ、計量経済学、国際経済学について学べる、というのがこの授業の良いところだと思います。経済学の理論や手法がどのように実際に活かせるのを知りたい、ゼミに入るまでに少人数でグループワークを行ったりアウトプットする機会を持ちたい、という方はぜひ履修してみてください。

#### <経済学部2年>

この授業では5人ほどのグループで春学期円ダービーに参加し、秋学期には日経ストックリーグに参加することとなります。また、これらのコンテストに参加しながら、秋山先生による回帰分析の手法や産業連関表の見方等の講義及び秋学期の輪読もあります。秋山先生は様々な質問に答えて下さるので、積極的に授業に参加し、コンテストでの悩んでいる点等聞いていけば学べることは多々あると思います。また、基本的にはこの授業では授業外でのグループワークが重要となります。グループ内で作業を分担し期限を決めたら必ずその期限を守ることや、自分でできることやできないことを明確にするなど、個人ではなく他人と共に作業しているということを意識しながら学ぶことができると思います。日吉では真剣にグループワークに取り組める貴重な授業なので、しっかりと授業外でも積極的に取り組める方ならばこの授業を通じて様々なことが学べ、大変良い機会だと思います。

#### <経済学部2年>

春学期は円ドルダービーに応募し、秋学期は日経ストックリーグに応募します。授業ではエクセルを利用して回帰分析を行ったり、企業の様々なデータにふれることが多々あります。私はエクセルが苦手だったので苦労はしましたが、秋山先生の分かりやすい説明や授業の仲間の協力のおかげで乗り切ることができました。しかし、苦労した分身につけたものは多く、この授業をとって本当に良かったと思っています。この授業をとろうか迷っている君。迷っているなら絶対にとるべきだ。苦労はするかもしれないけど、絶対に後悔することなんてない。最後には本当に良かったと必ず思える。秋山先生には本当にお世話になりました。また、チームメンバーには本当に感謝しきれません。ありがとうございました。

#### <経済学部2年>

自分は中学生から日本経済新聞を購読していたので日経円ダービーとストックリーグのことを知り興味をもっていたのでこの授業をとりました。授業外でチームで集まりミーティングをするのは、予定を合わせることを始め、アジェンダの設定やそこまで決めることができるかなど、難しいことですがやりがいのあることです。ただ座学だけの授業に物足りない人にはお勧めです。

#### <経済学部2年>

この自由研究セミナーは春学期に円ダービーを学習し、秋学期にストックリーグに参加します。両方とも「投資の予測」に関係する勉強になっています。「投資の予測」を通じて、資料の収集やデータの分析などのスキルが鍛えられて、良い勉強になる機会です。また、この授業は少人数なので、先生に直接に質問したり、意見を貰ったりすることができるので自分で勉強しても得られない知識が身につきます。先生は詳しく説明してくれますので、問題や疑問に出会っても全然心配する必要がありません。セミナーはグループワークの形で行います。グループ分けして円ダービー、ストックリーグに取り組みます。また、「通商白書」も輪読していきます。自分は「通商白書」を読んで、以前に知らなかった日本やアジアの経済状況が分かり、大変勉強になりました。日吉でこのような学習機会は少ないので、ぜひ履修してほしいと思います。

## 2. 2011 年度履修者からの一言

### <経済学部 2 年>

春学期は円ドルダービー、秋学期はストックリーグを通して株式投資やポートフォリオの作成などについて学んでいきます。授業は普通の授業とは異なり、ゼミに近い雰囲気です。グループワークが中心で、同じチームになった仲間とはとても仲良くなれます。優秀な生徒ばかりなので多くの刺激を受けることができますと思います。少人数なので、わからないことはすぐ教授に質問できるし、他の生徒から意見をもらうこともできるので、自分の意欲次第ですばらしい成長の場になるはずですよ。また秋山教授はとても穏やかで優しい先生なので、授業中の教室も和やかで明るいんです。だから自分は授業が億劫になることもなく最後まで楽しく授業に参加できました。この授業には他の授業では学べないことがたくさんあります。やる気のある人はぜひ挑戦してみてください。

### <経済学部 2 年>

この自由研究セミナーでは、グループワークによって二つレポートを作成するが、そのレポートにしっかりと取り組めば取り組むほど、得られるものは大きいと感じました。具体的には、レポートのテーマは自由に決められるので、興味を持ったものに対して知識を深めることができます。また、統計や計量との関連での相乗効果や、エクセルや経済指標に多くふれることもできます。さらに、他のグループの発表もとても面白く、同じ履修者の学生の考え方をしるのもよい機会です。そして、秋山先生からは、鋭いコメントを頂けるとともに、わからない点はサポートして頂けます。是非受講して頑張ってください。

### <経済学部 2 年>

春学期の円ドルダービーと秋学期のストックリーグはともに今まで扱ってこなかった計量経済のソフトやエクセルを用いて行う分析が多く、あまり知識のないソフトを用いて行う分析は困難で貴重な体験でした。また、この授業で扱う分析手法は計量経済と統計学の授業内容と多く重なる部分があり、重複的に勉強することでこの手法の練度が上がったと思います。

今回の授業ではグループワークが中心であり、今回最も自分が苦労したのがこのグループワークでした。自分の考え方を相手に伝えたり、意見をぶつけてそこから内容を進めていくことの難しさを実感しました。自分がどれほどチームに貢献できたかは、わからないがゼミ活動の準備としてもとても役に立つ経験をさせて頂いたと感じました。

### <経済学部 2 年>

この授業では、円・ドルレートの予想や株価の予想などを、主に計量経済学のツールである回帰分析を通じて行います。内容は決して複雑ではなく、予備知識のなかった僕でも一通りの内容を身に付けることが出来ました。経済学部である身としては、授業で扱ったマクロ経済学や統計学の知識を実践の場でどのように応用できるのか、といったことが学べるとてもやりがいのある授業でした。実践的な勉強に興味のある方には特に履修してみることをお勧めします。

### <経済学部 2 年>

この授業を履修する上で私なりの意義を2つ挙げたいと思います。

1つ目は、仲間との出会いです。少人数制クラスなので自然と仲が良くなりますし、なによりこの授業を履修する人たちはモチベーションが高く、自分の将来について真剣に考えています。そのような人たちと交流し、言葉を交わすことは貴重な経験です。

2つ目は、勉強をしている実感です。「日吉で勉強する経済学は理詰めで、自分が何を勉強しているのかいまいち実感が湧かない。」と思う人は少なくないでしょう。この授業では、レポートを執筆する際、実証分析を用います。今まで自分が学習してきた経済学が、情報を読み解く「道具」として使われるので、同じ勉強をするにしても充実感が違います。

また、何か分からないこと、疑問に思うことがあっても、秋山先生が丁寧に解説してくれるので安心です。予定通りにレポートの執筆が進まず、辛く思う時期もありますが、1年間授業を終えた時必ず履修して良かったと思えます。是非チャレンジして下さい。

### <経済学部 2 年>

私は始め興味半分、不安半分でこの授業を履修しました。実際に他の授業の課題と締め切りが重なった時は大変でしたがこの授業を通して得たものはそれ以上に大きいものでした。またチームの足並みを揃えることなど授業以外でも学んだことも沢山あります。不安だった知識不足は先生のバックアップや生徒間の質疑応答で段階的に学習していくことができました。時間的拘束はほかの授業より大きいかもしれませんが、興味があれば是非この授業を履修してほしいと思います。

### <経済学部 2 年>

この授業では、春学期は円ドルダービーへの参加、秋学期はストックリーグへの参加と通商白書の輪読を軸に勉強します。1番の特徴は、少人数のグループワーク形式の授業を日吉キャンパスで受けることができることです。秋山先生との距離がとても近く、先生は親身になってレポートの添削をしてくださり、鋭い指摘と助言を頂きます。また、通商白書の輪読中には面白い解説をしてくださり、自分の中で知識の幅を広げることができます。グループワークということで最初は不安でしたが、素晴らしい仲間に出会え、いい刺激をうけることができた1年間でした。広い知識と素晴らしい仲間を求めている方は、是非チャレンジしてみてください。

### <経済学部 2 年>

この自由研究セミナーでは主に三つの事を学びます。円ドルダービー、ストックリーグ、通商白書の三つです。円ドルダービーでは一ヶ月後の米ドルと日本円との為替を予測します。そのとき、エクセルで回帰分析を主に使いますが、それについても授業内で詳しく習えます。ストックリーグでは自分たちのチームで投資に値する企業を選んでその株式を、数字のうえで買ったと擬制し、短期間の動向をみます。以上の二つはチーム内で行い、議論や各自の調査をあわせて、最終的なレポートを作ります。作り上げた時の達成感は大変大きく、得た知識は莫大です。通商白書は授業中に皆で輪読します。日本や世界の経済の状況を詳しく知ることができます。以上のような実践的経済学を意欲的に感じたい方に、この自由研究セミナーはお勧めです。

### <経済学部 2 年>

この授業の良いところは円ドルダービーとストックリーグを通して実際の経済について学べることにあります。マクロ経済やミクロ経済のように文字や記号を扱うのではなく、実際の数字を使うので理論を実践できる場となりました。為替や株の知識が不足していると思っている人もいるかもしれませんが、秋山先生の指導や他のグループの発表、グループワークなどインプットをする機会が多いので不安になることはないと思います。また、ストックリーグの準備でアンケートとった事は初めての体験だったのですが、いい経験になりました。大変なこともありますが、主体的に参加すれば意欲の高い人たちと切磋琢磨できる授業になると思うので履修をお勧めします。

## &lt;経済学部2年&gt;

春学期の円ダービー・秋学期のストックリーグを通じて、長期間のグループワークを経験することができます。各々が異なったコミュニティに属しているメンバーでのグループワークは、自分の見解や知識の幅を広げるにあたって、非常に有意義な経験となることでしょう。また他の授業とは異なり、グループで集まる時間をつくる・レポート作成に向け自主的に知識を蓄えるなど、授業以外にも束縛される時間がありますが、かけた労力以上に得られるモノが大きくなることは間違いありません。

一塾生として自分の能力を高めるため、今後のゼミ活動に向けグループワークの進め方を学ぶために、最適な環境が整っているこのセミナーを受講することを強くお勧めします。

## &lt;経済学部2年&gt;

この授業では、5人ほどのチームで前期では為替のコンテスト（円ダービー）と、後期では株のコンテスト（日経ストックリーグ）に参加します。また、後期ではストックリーグと並行して今年を通商白書（受講者の希望によって変わる）を輪読しました。円ダービーでは、1か月後の円ドルレートを予測します。基本的には円ドルレートと関係する指標（日経平均株価や原油価格など）を探し、回帰分析によりその関係性を表す式をつくります。ある程度Excelの知識があった方がやりやすいです。日経ストックリーグでは独自の基準で購入する株を決め、仮想資金で実際に購入します。

どちらも最初は知識がなくても大丈夫ですが、授業外での活動も多いので、ある程度時間を割ける人でないと厳しいです。1人がサボってしまうとチーム全員に迷惑をかけるので、しっかりと活動に参加できる方が受講すると思います。

## &lt;経済学部2年&gt;

この自由研究セミナーでは普段の授業では得ることの出来ない知識と経験を学ぶ機会が与えられています。セミナーで得られる知識とは、基礎的な経済の仕組みや様々な指標に関するものです。春学期の円ダービー、秋学期のストックリーグと通商白書の輪読を通して主体的に学ぶことが出来ます。そして経験とはグループワークを通して得られるものです。セミナーの活動はチームで取り組むことになるので、その中での議論の進め方や、自分がチームの中でどのような役割を担えばよいのかを吸収できます。また、議論を進める場面やレポート作成にあたって、論理的であることを求められます。そのため物事に対して「何故そうなるのか」と突き詰めて考えたり、自分の考えを筋道立てて説明するよい機会になります。こうした様々な得るものがあり、このセミナーが3年から始まるゼミ活動のよい準備になったと感じています。一般教養ばかりの一年生の授業が物足りなかった方や、経済についての理解を深めたいと思っ

## &lt;経済学部2年&gt;

自由研究セミナーを終えて、履修した当時のことを思い出すと1年生の時に強くコミットできる授業が見つからなかったことがこの授業を履修した1番の動機でした。その点では、この授業をとってコミットしない事はありませんので非常に充実した学びの場にできたと思います。最初の授業でチームを分け、そこから1年間同じチームの人間とワークを行っていました。非常に多くの事を学びましたが、中でも大きかったのは時事情報に敏感になったことや回帰分析の仕組みが分かったことそしてもっとも大きかったのがチームでのワークを通して、集団で動くことの難しさ（最も困難だったのが5人で日程を合わせミーティングの設定をすること）や各人が得意分野不得意分野を持つことを肌で感じた事でした。また、自由研究セミナーの副産物もありました。それは、意識の高い人間との出会いです。授業を履修した当時は全く期待していなかったのですが、この授業には本当に面白い人が多くいろんな刺激を受け、今後の人生に具体的に大きな影響を与えられたと思います。「エグそう」と怯むかもしれませんが、得るものが大きいので受講した方がいいと思います。

## &lt;経済学部2年&gt;

日吉では1年生のマクロ、2年生のミクロくらいしか経済学っぽい授業が学べず、更に金融関係の授業というものが皆無だと思えます。なのでこの自セミは金融・経済関係のことを深く学べる日吉では貴重な授業です。また、基本的に学生のみで調べ学習をしていくという感じですが、疑問点がある場合秋山先生に聞けば答えて下さいます。履修条件としては、最後までやり切ることです。グループを作ってそのグループで一年間活動するので授業を切ってしまうと他人に迷惑がかかってしまう為です。ただ、それほど身構える必要もなく、軽いバイト・サークルと両立するくらいは全然可能だと思います。少々忙しくてもSkypeなどを使えばグループでミーティングをすることは容易です。ぜひ興味のある方は履修することをお勧めします。

## &lt;経済学部2年&gt;

この授業では、円ダービーとストックリーグを中心とした勉強を行います。春学期は円ダービーに参加し、Excelの基本的な使い方や分析方法などを学びました。秋学期はストックリーグに向けてポートフォリオを組むために企業分析を行い、それと並行して通商白書の輪読を行いました。全体を通してPCを多く利用した分析を行うので、PCの扱いに長けているとチーム内で活躍することができると思います。通常の一般教養の授業を履修するより負担は増えますが、4年間の大学生活の上で必ず有意義な時間であったと思うことができます。

## &lt;商学部2年&gt;

このセミナーで得られたことと得られなかったことを述べます。2つのものを得ました。①物事を批判的に眺める視点と②仲間との共同作業を通じた体感です。①は企業の情報を積極的に調べていく中で、今までマスメディアで受動的に得ていた情報が誤りであることに気が付きました。情報を自分の頭で判断する力が鍛えられました。②は複数人で共同作業する際の難しさです。当初の高いモチベーションを最終的な成果物に活かす難しさを、身をもって体験しました。他方、得られなかったものは、膨大な知識です。履修前は自分の株式に関する知識を格段に増やせると考えていました。知識量の増大こそが正しい判断を可能にすると思っていたのです。しかし、セミナーを通じたのは、大事なのは膨大な知識量よりも、数字やデータを読み解く考え方の方であるということです。半端な知識よりも真つ当な考え方を学びたいという方に、このセミナーをおすすめします。

## &lt;経済学部2年&gt;

春学期の円ダービーと秋学期のSTOCKリーグという、ともに「予測」というキーワードをもつことを行います。予測に必要な「根拠」とはいわば考え方、そして根拠に必要な「情報」とはいわば知識で、このどちらかが欠けようとも説得力のある予測を作り出すことはできません。作成したレポートは第三者の審査を通りますから、両方を妥協せずとことん追求することが不可欠です。

また、この授業は全てグループワークで行われるため、メンバー間の日程調整や、情報共有の効果的な段取りを定め、グループに積極的にコミットしていく姿勢、途中で投げ出さずに最後までやり抜く責任感も重要です。

## &lt;経済学部2年&gt;

秋山先生はストックリーグや円ドルダービー、経済白書など、勉強する機会を十分に与えてくださいます。その機会を生かせるかどうかは自分次第です。教授と生徒の距離が近いので、質問すればどんなことでもわかりやすく説明して下さいます。慶應の教授に好きなだけ質問ができる、こんなに恵まれた環境はそうないでしょう。また、この授業の特徴の一つにグループワークが挙げられます。一年間のグループワークを通して、ディスカッションやグループにおける自分の役割など、多くのことを学ぶことができました。他の授業よりもやることは多いですが、その分得られるものは大きいです。是非チャレンジしてみてください。

## &lt;経済学部2年&gt;

自由研究セミナーはやらされる勉強ではなく、主体的に取り組む自らやる勉強でした。発表や論文提出に向けてチームで一つのものを作るということは、日吉ではなかなかできないことで、ゼミに向けての良い練習になったと思っています。春の「日経エンダービー」、秋の「ストックリーグ」共に現実の経済現象について学び、理解を深めることができました。また秋山先生の論文での構成指導や、授業内輪読はこの先も役に立つと思います。途中でメンバーが抜けたことありましたが、良い授業を履修出来ました。授業を切ることは他のメンバーに迷惑がかかるので、是非やる気のある方は履修してやりきってください。

**3. 2010 年度履修者からの一言**

## &lt;経済学部2年&gt;

この授業はゼミの疑似体験といえます。私も1年生の時から自由研究セミナーを履修していましたが、特に2年生に関しては履修をお勧めします。少人数のメンバーと一から議論し、レポートを創り上げていく過程やそこで使う統計学等のスキルは他の大教室での授業を聞いているよりも、思考する機会の少ない大学の授業で貴重な場ではないかと思えます。

## &lt;経済学部2年&gt;

私は、この授業を「経済学部に入ったけれど何を勉強していいかわからない」という学生に特に参加してほしいと思います。この授業では、「円ダービー」にて為替、「ストックリーグ」にて株式投資という経済を理解するために最も重要である2つの概念について学びます。授業で学ぶことは決して高度なことではなく、為替や株価の仕組みを理解するところから始まり、最終的には自分なりに予測を立てるといったレベルまで到達することができます。一見退屈なマクロやミクロ経済学の授業も、自由研究セミナーを通じて実際の経済現象と照らし合わせながら考えてみると非常に有意義に感じることができるはずです。

## &lt;経済学部2年&gt;

このセミナーを受講したいと考えている人は、自分の知識の研鑽や発揮の場を求めている意欲のある学生だと思われます。そして、この少人数セミナーにおいて参加する、円ダービー、日経ストックリーグはそれらの場を提供してくれる非常に良い機会であるのは間違いありません。大変ではありますが、得られるものはたくさんあるので、是非受講して頑張ってください。

## &lt;経済学部2年&gt;

普段の大教室の授業とは違い、自分の頭で考え積極的に行動していくことがこの少人数セミナーの醍醐味だと思います。データを集め、回帰分析を使ってそれを分析し、その内容を発表する、この一連の作業を繰り返すことで確実に力がついていきます。秋山先生が親切に指導してくれるのは勿論のこと、クラスメイトからも鋭い指摘やアドバイスをもらえるので、やる気のある人には是非とも履修をお勧めしたいです。

## &lt;経済学部2年&gt;

私はこの授業を履修してよかったと思っています。経済やマーケットの基礎知識はなくても問題ありません。経済や為替・株式についての関心さえあれば有意義なものになると思います。授業では円ダービーとストックリーグの2つのコンテストに参加しますが、大教室での授業が中心の日吉では中々できない貴重な体験をすることができました。少人数の班で議論をしたり、他班の発表を聞くなどして周りのアイデアを吸収し、また自分から発信したりするのは刺激になると思います。

## &lt;経済学部1年&gt;

経済学部で1年生が学ぶことは、マクロや経済史といった現実の経済から離れていることが多い。この授業では、為替の予測や株式投資という作業を通して現実の経済を考え、回帰分析やポートフォリオといったことを学ぶため、通常の授業よりも実践的で面白かった。以前株式投資や為替取引をやったことがある人でも学べるものは多いので、そういう人もこの授業を受ける意味が大いにあると思う。

## &lt;経済学部2年&gt;

この少人数セミナーは教室が小さいことや先生との距離がとても近いこともあり、クラスの雰囲気が協動的で、ですから、普通の授業で授業中の発言や積極的なコミットをしていると、浮いてみえるかもしれませんが、この授業ではその心配がありません。また、先生はクラスの学生の自主性を重んじて下さいます。学生と秋山先生と一緒に作っていく授業だと思います。従って、必然と最適な学習環境が得られると思います。また、セミナーの内容如何に拘わらず、経済学のこと、ゼミのこと…など、様々な質問や相談に乗って下さいます。知識や経験などのリターンが大きい授業だと思うので、知識を得たい、友人を作りたい、多様な体験をしたい…などなどの目的にとっても良い手段だと思います。

## &lt;経済学部2年&gt;

この授業では、円ダービーとストックリーグという二つの活動に参加することによって、エクセルなどを用いた、経済現象を分析するために必要な様々な手法を学ぶことができます。秋山先生はすごく親切で熱心な先生で、わからないことがあれば丁寧に教えて下さいます。また、グループワークを通じて様々な刺激を受けることができるのも魅力です。なかなか大変だとは思いますが、やる気のある方はぜひこの授業を受けてみてください！きっとためになるはずです！

## &lt;経済学部2年&gt;

僕は以前から株や為替等の取引をしていましたが、この授業を通して自分が頭の中で考えている事を文章にして表す事の難しさを痛感しました。この少人数セミナーでは大教室での授業で得られない様なもの、具体的には意欲のある友達だったり、異なる考えを持つ人とかに一つ一つの物を完成させるか等の経験が得られます。普通の授業よりは負担が大きい事も間違いありませんが、株や為替に興味がある人は是非履修してみることを勧めます。

## &lt;経済学部 2 年&gt;

私は金融に関する知識もあまりなく、分析ツールに関しても知識がなかったです。しかし、円ダービーストックリーグなどのコンテストへ参加することによって、金融に関する知識を得ることができ、様々な分析方法についても学ぶことができました。また、少人数セミナーでは様々な人が集まって履修しているため、様々な視点から経済を見ることができます。特に、2年生は3年の時のゼミというのをあらかじめ経験することができます。そして、このような知識面だけではなく、チームワーク、新聞を「読む」能力、必要な情報を探すことまでも身に付きます。大教室で経験できないことをこの自由研究セミナーでぜひ経験してみてください。

## &lt;商学部 2 年&gt;

この授業では通常の授業とは異なり、少人数で受講するという点がとても有益であると思います。各自が協力して取り組まなければならないため、データの収集や分析、レポート作成等を通して、より成長することができると思います。また、秋山先生の丁寧かつ親身な指導が少人数であるからこそ受けられる点も非常に魅力的です。やる気があり、自分を成長させたい人は是非とも履修することをお勧めします。

## &lt;経済学部 2 年&gt;

しっかりと為替や株式投資について勉強したい人には本当におすすめの授業です。ただし、この自由研究セミナーは生徒の自主性を非常に重んじる授業であるため、自分の頭で考えて、向上心をもって授業に参加できる人でないとやや不向きかもしれません。ただ、やる気のある学生には本当に先生が丁寧に指導をしてくださりますので、やる気のある人はぜひ履修することをお勧めします。

## &lt;経済学部 2 年&gt;

私はこの授業に参加する前、「ポートフォリオって何」という本当に無知な状態でした。しかし、二つのコンテストに参加し、論文を作成する過程でたくさんの知識を学び、この一年間でとても成長したと思います。統計の知識がなくても、先輩方や先生が丁寧に教えてくださるので、1年生でもチャレンジする価値は大いにあります。この授業は、1年生にとっては数少ない「受け身ではない授業」です。自分から積極的に参加できる授業を履修したい人にはおすすめです。

## &lt;経済学部 2 年&gt;

秋山先生の授業では、春学期は帰帰分析の方法を習い、円ダービーに取り組みます。そして夏休みを経て秋学期は日経STOCKリーグに参加します。私がこの授業を取ったのは、金融のこと、株式市場や為替市場について興味があったからです。それまで特に金融に関してもExcelに関して勉強していなかったため、最初は不安でいっぱいでした。しかしグループでの共同作業であるため、チームメイト同士お互いの得意分野を持ち寄ってレポート作成に取り組むことが出来ました。また、秋山先生がどんなに初歩的な質問であっても、しっかり丁寧に教えて下さるので分からないことがあっても挫折することなく勉強することが出来ました。この授業を履修しようと考えている人は、現状に満足せず、より高いレベルの勉強をしたいという意味と、チームメイトと最後まで協力して助け合う心構えがあるべきだと思います。秋山先生の授業は、もっと学びたい！という気持ちを貪欲に追い求めることが出来る授業です。

## &lt;経済学部 2 年&gt;

この授業では、主に円ダービーやストックリーグのグループワークをするのですが、普段の授業と違い、実際の経済について興味を持って学習できることがよいと思います。例えば、僕たちが円ダービーの予想を立てた直後にギリシャ危機が起こるなど、実際の出来事として為替市場などがどう振り回されるのかに興味を持って見ることができました。1年生にとっては、少々レベルが高いですが、いい刺激になると思うので頑張ってください。

## &lt;経済学部 2 年&gt;

日吉では多くの授業は、経済学や計量分析の知識を得ることそれ自体が目標となっていますが、この自由研究セミナーは、それらを実際に活用することを目標(の1つ)としています。また、秋山先生は非常に熱心な先生で、生徒の幅広い質問に全て答えてくれます。こういった点で、とても貴重な場だと言えます。しっかりと主体性をもって臨めば、日吉で最も有意義な授業になると思います。

## &lt;経済学部 2 年&gt;

まずこの授業を履修した感想は、とてもよかったですと言えます。僕は全くと言っていいほど株などの予備知識はなかったのですが、秋山先生が授業中に教えてくれますし、授業後に初歩的な質問をしても丁寧に教えてくださいます。そのため、1年生にとってもためになる授業だと思います。さらにグループ活動がメインなので、知識が豊富な先輩方と一緒に活動でき、勉強になりますし、とてもいい刺激になります。もし迷っているなら受けてみることを勧めます。

**4. 2009 年度履修者からの一言**

## &lt;経済学部 1 年&gt;

この授業の醍醐味はやはり、通年、グループワーク活動が軸となり展開していくことです。株式、為替に対する知識や、エクセルの技術と身に着くインプット要素と同時に、グループ活動を通じてのディスカッションや発表会などの機会も豊富で、アウトプット力も高められます。しかし、何といたってグループワーク活動の一番の醍醐味は、一丸になって、取り組む連帯感や達成感でしょう。グループワークでの活動に魅力を感じる人には履修する価値があります。

## &lt;経済学部 2 年&gt;

株式に対して全く知識がありませんでしたが、秋山先生の熱心で丁寧な指導により、株式に限らず、時事問題・エクセルなどに関する様々な知識も身につけることができました。また、グループで取り組むコンテストに2つも参加するので、クラスメイトとの絆も深まり、和気あいあいとした雰囲気でも多くの仲間ができました。日吉で過ごす2年間でグループワークを行ったり、一人ひとりがプレゼンテーションや質問の時間などで自由に自分の意見を発言できたりする機会は非常に少ないと思うので、そういう場で自分を高めたい、という方には是非お勧めしたい授業です。

## &lt;経済学部 1 年&gt;

私はこの授業に参加して本当に良かったと思っています。この授業をとろうと考えている人は、少なからず株式・為替に興味があって、実際に取引をしている人もいると思います。ただこの授業で学ぶことは、単にチャートだけを見て判断する売買を学ぶのではなく、為替がどのように決まってくるのか、どのような会社を評価するべきなのかといった根本部分での理解の向上につながります。また、大学内で違う学年の人と一っしょに共同作業をする機会は本当に貴重で、様々なことを学べます。1年生でもぜひチャレンジしてみてください。

## &lt;経済学部 2 年&gt;

通常、日吉での講義は大教室の授業が中心となりますが、この秋山先生の自由研究セミナーは少人数のグループワークを軸として学習していくため、三田で始まるゼミ活動を経験することができます。そのため、授業以外で各個人やるべきことが増えますが、この授業を通じて得られることは大きく分けて2つあると私は考えました。金融知識、グループワークにおける問題解決能力です。金融知識に関しては、私は当初ほとんどゼロからのスタートでしたが、他のグループのプレゼンや、プレゼンするたびに指摘してくれる秋山先生の貴重なアドバイスのおかげで、少しずつ深めていくことができました。また、円ダービー・ストックリーグはグループワークの形式なので、自分たちで問題を設定し、何度も議論を繰り返しながら解決に導いていくという、大教室の授業では決して得ることのできない力を養うことができます。この授業の履修を迷っている人はぜひ履修してみるべきだと思います。

## &lt;経済学部 2 年&gt;

僕はこの授業をとる際に為替や株、統計、計量分析といった知識がほとんどなかったのだから不安に感じていた部分も多くありました。しかし、実際の授業では秋山先生の講義は勿論、同じ自由研究セミナーを履修しているメンバー同士が助け合い情報を分け合って作業を進めるので付いていけないというような事は全くなく、個人個人が作業を分担してグループワークをこなすことが出来ました。大教室における受身の授業が多い中でこうした少人数で能動的に問題解決に取り組めるような授業は貴重であると共に大変有意義であると感じました。

## &lt;経済学部 2 年&gt;

この授業は「少人数セミナー」なので、先生や他の生徒との距離がとても近く、最高の学習環境がそろっています。先生は金融や計量の知識について分かりやすく講義をしてくださいますし、プレゼンにも的確なフィードバックをくださいます。ただ気をつけなければならないのは、この環境を生かすも殺すもあなた次第であるということです。先生から課題が出ることもないですし、プレゼンもやりたくなければ全くやらずに済みます。また、ほとんどの活動がグループ活動なので、ある意味他の授業より人に頼りやすくなってしまおうという性質もあるでしょう。これらの点に気をつけなければ、何も得ずに1年が終わっていることになってしまいますが、積極的に取り組みれば先生は快くそれに応えてくださるので、知識面でも経験面でも実りの多い授業になることは間違いありません。

## &lt;経済学部 1 年&gt;

この授業では春学期に円ダービー、秋学期にストックリーグというコンテンツに応募します。4～5人のグループを作り、グループで為替・株に関する論文を仕上げていきます。この授業の特に良い点は、他の授業のような一方通行の講義と違い、基本自分たちで作業をおこなっていくので、知識が身につくやすく、何よりも目標があるためやりがいがある点です。その際、秋山先生が的確な助言を下さるので為替や株の知識が全くない人でも問題はありません。一年を通じて中々ハードですが、一年を終えた時には多くの知識を得られるはずです。

## &lt;経済学部 2 年&gt;

この授業では、いくつかのグループに分かれ、グループごとに円ダービー、STOCKリーグに参加します。大教室での授業とは違い、一人ひとりの自発的な学習が求められるため大変なことも多いですが、経済に関するいろいろなことを学べるだけでなく、グループ学習という大学1～2年次においては貴重な体験をすることができます。パソコンを用いて回帰分析を行ったりもするのでExcelのスキルも身に付きます。僕自身、為替や株について初めは全然知らず、ついていけないかどうか不安でしたが、秋山先生のアドバイスのもと、グループで学習していくうちに、少しずつ日経新聞等も読めるようになっていきました。

## &lt;経済学部 1 年&gt;

この授業を履修して、為替レートや株に関する知識はもちろん、データ収集の方法、読みやすいレポートの書き方や論理的に考える習慣など、様々なスキルを学ぶことができました。グループワークは、他のメンバーに頼りがちになったり、皆の意見をまとめて活動を進めていくのが大変だったりしますが、皆のそれぞれの長所を生かしてより良いものを作れるし、時間のかかる作業も分担することでやり遂げることができました。データ収集やレポート作成はかなり時間がかかり大変でしたが、大学生になってからはある程度長期的にグループワークを行う機会はほとんどないので、とても良い経験になりました。知識がなくても、データ収集をしたり、本を読んだりするうちに、色々と学ぶことができるので、知識・技術面で不安があるとしても、やる気のある人はぜひ履修してほしいです。

## &lt;経済学部 2 年&gt;

金融の知識をつけたいと思っていた自分は、円ダービーやストックリーグなどに参加できるという話を聞いて秋山先生の自由研究セミナーに参加しました。グループワークなどは手際の悪いところも多々あり、同じグループの人に迷惑をかけてしまいました。みんなやさしくフォローしてくれて無事1年間やり遂げることができました。両活動をつうじてえた経験は今後の大学生活の糧になっていくと思います。回帰分析の方法から、現在の国際経済の時事ニュースまでさまざまな興味深い知識を与えることができました。またストックリーグや円ダービーを通して金融について少しですが知識を得ることができたり、グループで1つの論文をかきあげるという作業を経験できたことは今後の大学生活において役に立つのではないかなと思います。秋山先生の自由研究セミナーをとろうか迷っている人、後悔はしません。ぜひとってみてください。

#### <経済学部 1 年>

私は、以前から株に興味があったのでこのセミナーに入りたいと思いました。授業を受ける前は授業についていけないか心配でしたが、グループワークが中心なので、わからないことをチームで共有できるし、先生に質問するととても丁寧に教えて下さるので意欲があれば心配はいらないと思います。前期の授業では円ダービーを通して為替について学び、後期はストックリーグに参加します。グループに分かれて、グループごとに進めていき、授業中に随時発表があります。授業中に作業をするというよりはグループごとで進めていく感じなので、授業外で集まることが多いです。この授業では、為替や株について学べるのはもちろんのこと、エクセルを用いた回帰分析やグループワークもでき、他の授業にはない魅力が満載です。そして秋山先生がとってもいい先生です！ 自分で興味を持って参加すれば、得るものはとても多い授業なので自発的に学びたい人におすすめです。

#### <経済学部 2 年>

この授業の特徴としては、4～5人の少人数で一つの論文を書き上げるということです。ひとりでは理解できない、また量が多すぎて先に進められないようなことがあっても、グループで協力し分担すればそれは解決できます。少人数のため意見が述べやすく集まりやすいのでスムーズに進んでいくように思えますが、意見が割れたり、良いアイデアが出なかったりするので作業は難航しがちです。しかし、そこでさらに悩み、議論を深めるといことがよい経験となるのです。この授業では為替・株の知識はもちろんのこと、このようなグループワークの醍醐味を味わうことができるのです。

#### <経済学部 2 年>

秋山先生の自由研究セミナーは、主に円ダービー・stockリーグへの参加に伴うグループワークが中心になります。したがって、授業以外の時間に週1回は集まって話し合いをする程の時間的拘束は覚悟しなければなりません。基本的には自分から動かないと何も進まないの、この授業では自分からコミットしなければ何も得られないと思って貰って良いでしょう。一方で、自ら能動的に学ぶ意欲がある人は積極的に学ぼうとすればするほどリターンも大きいと思うので、現時点での株や金融の知識がある無しに関係なく、やる気のある人は履修をお勧めします。周りの履修者も比較的モチベーションの高い人が集まっているので、1・2年の間からこのような少人数セミナーで勉強できることは他の人よりも大きなアドバンテージになると思います。

#### <経済学部 2 年>

案に単位を取得することやゼミのコネの為に履修しようとしている人はやめた方が良いでしょう。この授業ではグループワークが中心なので、学習意欲のない生徒はグループメンバーに迷惑をかけることになり。また、この授業は授業外にグループで集まって作業を行う必要があります(だいたい週1～2時間くらい)。

この授業を通じて学べることはグループで一つの論文を作成するための手順です。テーマを決め、研究・調査を行い、論理的な文書をグループで作成する方法。また、授業中は頻繁にプロジェクターを利用した発表があるので、プレゼン能力も向上するかもしれません。グループを正しい方向に導くリーダーシップを発揮することもできるかもしれません。この授業は何かを教わるよりも自分たちで実際に行動して能力を向上して行くような授業です。資産運用などの学問的知識も少しは学べますが、ほとんどは自分達で調べることとなります。

#### <経済学部 1 年>

特に詳しい知識はなかったのですが以前から株に興味があったので、この自由研究セミナーを履修しました。前期の円ダービーでは、どのような要因が経済に影響を与えるのかをグループで考えてそれを自分たちなりに数式化することで円相場を予想しました。後期は日経ストックリーグに参加して、自分たちのグループで決めたテーマ設定にそって、利益が上がるような投資を考えました。一年間を通じてやることで他の授業よりも頭を悩ませる機会が多かったように思いますが、同じく株に興味を持っているセミナーの仲間とミーティングをすることで最終ゴールにたどり着くことができました。このセミナーは二年生が多く一年生は少なかったのですが、二年生からいい刺激を受けることができるので興味とやる気さえあれば一年生からでも積極的に履修していいと思います。この一年間で日経新聞を読む習慣がついたのはこれからの自分にとってもプラスになると思います。

#### <経済学部 2 年>

この授業では株、為替の知識を身につけることを目的に「円ダービー」「ストックリーグ」という二つの大会に出場します。この中で私たちは数人の班に分かれ、グループワーク形式で数カ月かけて自分たちの論文を書きました。優れた論文を作り上げるため、何度もミーティングを行い、課題をこなしました。そうして試行錯誤を繰り返し、論文が完成するころには自然と株、為替に関するいろいろな知識が身に付いていました。論文作成には多くの困難が伴いましたが、秋山先生は私たちが問題につまづいた時に親身になって相談に乗って下さいました。この授業で得た経験や、共にグループワークを行った仲間たちは、私の大学生活における大きな財産となりました。「株、為替に興味がある」「大学でアカデミックなことに挑戦してみたい」などの高いモチベーションを持つ方に、この授業を是非お勧めしたいと思います。

#### <経済学部 2 年>

この自由研究セミナーを受講してとてもよかったと思います。最初は為替・株の知識が全くありませんでしたが、「この授業で学びたい。」というやる気のみをもって履修しました。この自由研究セミナーの授業は日経円ダービーと日経ストックリーグというコンテストに参加することによって、ほかの一般教養の授業よりも格段にたくさんの知識・情報を得ることができます。秋山先生はいろんなことを幅広く知っていらっしゃるの、大教室では得られない情報を授業中に得られます。また、この授業は僕にとってすごくいいきっかけになりました。為替・株に関する勉強を通して経済全体にとっても興味を持つようになり、日経新聞を毎日購読するようになりました。そういう意味では、ただなんとなく経済に興味があるという方にもお勧めの授業であると思います。この授業が受講者各々に何らかのきっかけを与えてくれるのではないのでしょうか。ただ、受講するからには、与えられた自分のタスクをこなす義務があると思います。これも、2つのコンテストに参加することによって実感したことです。

#### <経済学部 2 年>

この授業では、ただ座って講義を聴いている大教室で受ける授業にはない魅力が多くあります。たとえば教授は、大教室では話して下さらないであろう、面白い話をしてくれますし、グループ作業が主なので生徒同士の距離が近いのも魅力の一つです。もちろん金融については、円ダービー・ストックリーグを通して多くまなべます。金融について学びたい、有意義なことをこの1年行いたいという人は、ぜひこの授業を受講してみてはいかがでしょうか。



#### <経済学部2年>

株、為替、そんな言葉に漠然と惹かれて履修したこの授業。春学期に円ダービーを経験し、秋学期にストックリーグに参加した。その結果得たものは、エクセル、ワードの複雑の使い方、Rを使った計量分析の手法、日経新聞を読む習慣、グループで一つのものを作り上げる難しさとレポートが完成した時の達成感、スキマ時間を最大限に使う力などなど。挙げればきりが無い。教科書の輪読を通して、最新の経済知識を秋山先生から教えてもらった。この授業には自主性、積極性が必要だと思う。自分が貪欲に知識欲を満たそうと思えば、それに応えてくれる教授がいて、仲間がいる。受け身になっていては得るものが少なくなってしまう。

最後に、この授業を自分にとって有益なものにするためには、「覚悟」が必要だと強く思う。時間外の活動に時間を費やせるかどうか、自分がリーダーシップを発揮できるかどうか。ただ、強い学習意欲があるならば、問題ないと思うが。

### 5. 2008 年度履修者からの一言

#### <経済学部2年>

金融の知識もなく、分析の知識もなかった私は、投資や為替について知りたいと思いつつも知識的についてゆけるのかとても心配で履修するか否かとても悩みました。そんな私がこの授業を履修しようとしたのは、授業のガイダンスに行ったときに、秋山先生が優しく暖かい雰囲気の方で一つ一つ丁寧に授業の内容について説明して下さったため安心したからです。秋山先生は本当に優しく質問をすれば何でも答えてくださるので、私のように不安を抱いている人はとりあえずガイダンスにでて秋山先生にお会いしてみてください。

この授業では、チームを組んで為替の円ダービーや、ファンド作成のストックリーグに取り組みます。そのため、知識が足りないところはチームメイトに助けてもらえます。ただ、授業外の時間でそれぞれチームごとにMTGやスカイプなどをして論文を作成していくため、授業外の時間も費やすことになるということは理解しておいたほうが良いと思います。私自身、分析をしたり論文を書いたりするのがほぼ初めてだったのでなかなか理解が追いつかず大変でしたが、チームメイトに教えてもらったりしながら沢山のことを学ぶことができました。レポートの提出期限に追われる日々でしたが、為替の説明変数やファンドのコンセプト、スクリーニング方法など、何度も何度もチームで話し合った日々は私にとって新鮮で、充実した日々でした。このような機会と仲間を与えてくださった先生といつもいつも助けてくれたチームのメンバーに感謝の気持ちでいっぱいです！

#### <経済学部2年>

来年度、秋山教授の自由研究セミナーを履修することを考えている皆さんに、今年1年間履修した私からメッセージがあります。皆さんの中には金融に関する知識が豊富な方もいらっしゃると思いますが、1、2年生であれば全く学んだことが無いといった方も多いのではないかと思います。どちらであれ、下記の二点のいずれかに当てはまる方は是非とも履修をお勧め致します。

第一は、将来金融業界で働きたいと漠然的にでも考えている方です。この授業では円ダービーや日経ストックリーグという2つの大会への参加を通じて、実際に金融機関がどのようにしてビジネスをしているのかを疑似体験することが出来ます。ただ理論を学ぶだけでなく実務を経験できるという点で、皆さんの視野を大きく広げてくれると思います。第二は、まだ将来何をやりたいか決めていないが取りあえず何か挑戦してみたい、という方です。この授業には本当に優秀で人望も厚い学生がたくさん参加しています。彼らとの交流・グループワークを通じて、皆さんは将来に対する考え方がきっと変わることでしょう。

金融業界で働きたいと考えている方、とりあえず何かアクションを起こしてみたい方は是非ともこの授業を履修することをお勧め致します！

#### <経済学部1年>

この授業では一年を通して円ダービーやストックリーグという金融コンテストに参加します。このコンテストでは金融の知識が求められます。そのため金融初心者の方にはキツイかもしれませんがやる気があれば非常に勉強になります。

金融の知識だけでなく、チームワーク、問題解決能力、さらにはエクセルの高度な使い方までもが身に付きます。

一年を通して受ける価値のある授業です。

#### <経済学部2年>

この自由研究セミナーでは学生4～5名で一つのグループを組んで、前期は為替レートを予測する日経円ダービーに、後期はファンドを作る日経ストックリーグに参加して、それぞれ論文を作成します。論文作成作業の多くは授業外であるため、授業外にグループワークの時間として週2～3時間は最低でも使う必要があります。論文の分析対象は為替・株ですが、主に統計学・計量経済学で扱うような手法を中心として自由な発想で分析を行います。このため、ファイナンス理論・金融工学といった分野に詳しい事は強みになりますが、それらを専門的に学びたい人はこの講義には向いていないかもしれません。むしろ授業の流れで自然と金融に関する知識が付き、分からない所や疑問に思った部分は先生に質問すれば丁寧に教えてもらえるので、むしろ金融の世界にあまり馴染みが無い人が受講すると得る物が多いと思います。

#### <経済学部2年>

私は二年生の時にこの授業を履修しました。結論から言って、今期の授業の中で取って見て最も充実した内容だったと思います。なぜなら、

①：少人数なので、主体的な発言がしやすい。

②：実際に作業を行う機会が多い。

③：授業に単位以外の達成目標がある。

という点が挙げられるからです。まず、①双方向に対話を行ったりできる授業が慶応では少ないので、教授(ここでは秋山先生)との距離が近く、質問や雑談などといったことを気軽にできるという授業形態であること、そして②授業では計量的な分析手法を学んだ上で、エクセル等を使って計算する方法を学べることも大きな魅力の一つです。それに加えて、③論文のコンテストに実際に参加し、賞を手に入れるという目標があり、それに向かってチームで取り組むことでより勉学に励もうというインセンティブが湧きます。ただ授業に出るだけで満足などせず、より多くのものを身につけようと思っている人には是非履修してほしい授業です。

#### <経済学部2年>

この授業の醍醐味は、グループの中で意見を出し合い、論文を作成するという積極的な学習ができることです。これは他の授業には無い魅力であり、大教室で行なわれるような、半ば一方通行で受動的な学習に陥りやすい授業に物足りなさを感じ、もっと積極的に経済を学びたいと思っている人には、うってつけだと思います。更に、担当の秋山先生からは、毎回の確かなアドバイスをいただけます。やる気があれば、得られるものが本当に多いです。

## &lt;経済学部1年&gt;

この授業では、主にグループ内で論文の作成をします。春学期には、円ダービー、秋学期にはストックリーグというコンテストに応募します。その際に、先生からわかりやすい指針や必要な知識を教えてもらいながら、自分たち独自のアイデアを盛り込んだ論文を書き上げていきます。論文は、自分自身の経済全般の知識や思考をそのまま反映するため、主体性をもって日々学んでいないといけないという環境におかれます。そういった意味で、この授業を履修すると学校内外で勉強していることがプレゼンやクラス内議論を通して非常によい実践の場になり、一年間を通して成長できると思います。

## &lt;経済学部2年&gt;

秋山先生の自由研究セミナーは将来金融業界を目指している方は必ず取るべきだと思います。僕はこの自由研究セミナーを2008年度に取らせていただきました。その中でたくさんの方を学び、そしてとても良い仲間を得ました。どちらも今後の人生でかけがえのない宝になると思います。

具体的にどのようなことを学ぶことができたのかと言うと、まずはデータ分析。これは金融業界に将来所属しなくても、必ず使うことになる必須テクなので、このデータ分析ができるようになるだけでも取る価値があります。また、為替と株についてとても深く掘り下げて考えることになるので、金融に関してとても詳しくなれます。これらは決して通常の授業で教えてはもらえないことです。

さらに非常に優秀な人達が集まります。まじで将来みんながどうなっているか楽しみです。本当にこの自由研究セミナーに入れてよかったです。メーリスを作って10年後とかにでも集まりたいですね。

## &lt;経済学部1年&gt;

初めは為替や株について何も知らなかったのがこれからセミナーでやっていたら大変心配でした。

エクセルの使い方もなにも知らなかったのが初めはただただ心配でしたが、教授の丁寧なエクセルの使い方の説明や、先輩の助けがあってやっていく事ができました。他の授業は大教室で生徒同士や教授とのやりとりはほぼ皆無でしたが、このセミナーはグループ同士のやりとりが無くては成り立たなかったり、教授のアドバイスが必要だったりと授業内容とは別に学ぶことがたくさんありました。

株や為替の知識以外にも学ぶ事が多かったのがこのセミナーの良さだと思います。

そういったセミナーを探している方には是非おすすめしたいです。

## &lt;経済学部2年&gt;

私がこのセミナーを履修した理由には、日経円ダービーやストックリーグへの参加といった、通常の授業では絶対にできない貴重な体験ができることにあります。大学に入って、株式投資やFXなどを独学で実践してきた自分にとって、仲間と切磋琢磨することは非常に良い刺激となりました。議論し、発表し、レポートを作成する課程で、今までになかった新しい考えが生まれます。結果として、円ダービーでは優秀賞を勝ち取ることができ、大変光栄に思います。

さて、気になる授業に関してお話しておきます。春学期は、レポート作成に必須のツールとなる回帰分析の学習が中心です。秋山先生は内容の濃いレジュメと丁寧な解説で授業を進めてくださるので、初めての人でも簡単に身につけることができます。それを習得すると、いよいよ円ダービーに取り掛かります。履修者の意識は非常に高いので、授業中の発表でも白熱した？質疑応答が見られ、大変勉強になります。秋学期はストックリーグの学習がメインとなります。また、この頃になると、先生のためになる話が増えます。ここまで言えればわかる人も多いと思いますが、授業時間外の活動のほうが多いです。ただし、リスクを取った分だけリターンが得られるのは事実です。普段の授業では物足りない人は、ぜひ自己投資＝履修してみてください。1年後には大きなリターンを得るはずですよ。

## &lt;経済学部2年&gt;

私がこの授業を履修した動機の一つに、これまで全くといっていいほど疎遠であった為替市場、株式市場の仕組みについて理解し、知識を得たいという思いがありました。

円ダービー・ストック・リーグを通じて1番良かったと思うことは、論文を作成する過程で、それらの知識を自主的に勉強して文献・友人・先生から習得する経験ができたことです。もちろん、座学の講義に比べれば効率の悪い、不十分な学習だったかもしれませんが。しかし、「自ら問いを立て、自らその解決方法を探す」という経験は、今後三田に行っても必ず活かされるものだと思います。逆に授業の中で、この姿勢を欠いた受け身に徹する態度を取り続けると（秋山先生はとても「優しい」ので、「ラクに過ごす」こともできてしまいます）、全く得るものは無く、時間の空費に終わってしまうと思います。反省になりますが、自分はこのことに気付くのが遅れ、随分と勿体無いことをしてしまいました。

また、具体的な知識や技術以外の点でこの授業から感じたことは「グループ作業における自分の場所づくり」の大切さです。これは授業中秋山先生が繰り返し述べられたことですが、金融分野に関する知識、パソコン技術、企画発案、計画管理など、皆で論文を書くときに自分が1番得意でチームに貢献できるモノを何か持っていないと、「俺って必要無くない？」となり精神的にキツくなります（実際になりました）。チームの中で常に自分の役割を見出す機軸についても大いに考えさせられました。

## &lt;経済学部2年&gt;

最初は2年生になったということで、普段の授業より経済学っぽいものを学んでみたい、ゼミに似た雰囲気を知りたいとおもって履修をしました。

そして、数ある少人数セミナーの中でこの授業を選んだ動機としては、為替や株といった身近なものを扱っているからでした。実際、数式ばかりで、机の上ではよく理解できなかった経済学も、こうした身近なことと一緒に使うことで、大変理解しやすく経済学をより楽しいものだと感じる事ができました。また、個人的には3限が統計学・4限が計量経済学だったということもあり、習ったことをすぐに実践できるということも大変魅力的でした。

この授業をとるにあたって、特別な知識を要するかと心配する方もいるかと思いますが、まったく心配ありません。実際、履修をきめる時点で知識豊富な人の方が少ないと思います。2年生の授業と並行してすすめるうえで、相乗効果を得られると思います。1年生も基本的に2年生と組みながら進めていくので、問題もないですし、いい予習となると思います。

## &lt;経済学部2年&gt;

大教室で、教授が板書したことや話したことをただ書き写すのが大学の授業ではありません。この授業では、生徒同士で意見を出し合ったり、助け合ったり、教授に直接その場で質問できたりと、自ら積極的に授業に取り組みます。また株や為替、統計学や計量経済学、ExcelやRの使い方など、経済学部生として欠かせない知識を身につけることが出来るのもこの授業の大きな魅力です。

1年生でも2年生でも、経済学や数学に自信がなくても、秋山先生が本当に丁寧に指導して下さるので心配ありません。少しでも、興味を持ったならば是非挑戦すべき授業です。こんなに90分過ぎるのが早く感じる授業は、他にはないと言えるくらいとても充実しています。

## &lt;経済学部2年&gt;

経済の知識がUPします！excelのスキルもUPします！友達も増えます！日吉では珍しく教授との交流が図れます！というのが大まかに挙げるメリットです。特に最初の二つは実際履修してとてもよかったと感じている点です。普段の経済学部の授業ではあまり取り上げられない、リアルタイムでの日本経済について分析したり、それについて予想を立てて論文に起こしたりと、僕にとっては新鮮で興味深い内容でした。また、それが他のグループと比較されることによってゲーム感覚で楽しむことが出来るとともに、自分たちの改善点が明確に見えてそれが次に活かせることで、一年間飽きずに楽しく学ぶことが出来ました。授業内容と直接は関係ありませんが、秋山先生からゼミや就職についての話を聞けることも、この授業を履修していて良かったと思うことの一つです。迷っている人は是非履修してみてください。後悔はしません！

## &lt;経済学部1年&gt;

私が秋山先生の自由研究セミナーを履修してよかったと思うことは、チームのメンバーとともに1年間同じ課題に取り組むことで、共同作業の大変さや楽しさを知ることができた点です。高校までの勉強（特に受験勉強）ではチームで課題に取り組み、成績をとるという機会はあまりなかったのではないのでしょうか。しかし、大学を卒業し社会に出た時、1人だけで仕事をするということはほとんどなく、他人と協力しながら仕事をするのがほとんどだと思います。したがって、まだ未修の1年生でも理解できる統計学や、株や為替の知識を吸収しながら、このセミナーをとってそのギャップを埋めることは大変有意義な選択だと思います。

## &lt;経済学部2年&gt;

非常におすすめの授業。日経円ダービーと日経ストックリーグへの論文を作成する。最優秀賞を取ると、アメリカ旅行に行ける。グループワークも非常によい経験になった。

授業の中では計量分析を実践できる。円ダービーでは回帰分析を学ぶ。ストックリーグでは株式投資の基礎を学べる。

## &lt;経済学部1年&gt;

僕は1年生でこの自由研究セミナーを履修したのですが、正直ついていけないところもありました。しかし、この授業を履修する人は皆、意識の高い人なので自分から学ぼうという気になりました。特に、ファンドを作るというのは経験したことがなかったので、微力ながら指標を考えたりすることで、ファンド作りを体験できたのはいい経験になりました。履修する上で、株や為替の仕組みはある程度わかってたほうが良いと思います。

## &lt;経済学部1年&gt;

秋山先生はとても優しくユーモアたっぷりの授業で非常に楽しかった。

少人数なので先生と直接会話できることが一番の利点だと思う。

## &lt;商学部2年&gt;

自分が本セミナーをなぜ履修しようと思ったのか、履修してみてどうだったのか、を記したいと思います。履修を考えた理由は①経済指標などの知識を会得できる機会がある②日経ストックリーグをはじめとするコンテストに参加できる③グループワークを経験できる、の3つあります。自分の性格上、独学で勉強をするといっても何から始めたらよいか分からなかったり、モチベーションが持続しなかったりといったことを考慮した上で、本セミナーは打ってつけでした。では実際受講してみてどうだったか。非常に為になるのは言うまでもなく、楽しんで続けられました。1つの課題に5人で取り組む。その過程で様々な事柄を勉強することができました。知識の吸収だけでなく、人がチームで何かに取り組む際に何を気をつければ円滑に進むかなどより重要なことも学べました。また指導教員の秋山先生は非常にやさしく丁寧にご指導くださいます。結論として本セミナーの受講を強くお勧めします。

## &lt;経済学部2年&gt;

この授業の特徴の一つに、グループワークでレポート製作を進めていくことが挙げられます。このグループワークで授業が進むという点で、いくつか注意しなければいけないことがあります。

まず、各々できることの能力に差があるため、常にそのギャップを意識してグループでの話し合いや役割分担をしなければならないということです。なぜなら、メンバーの中には、為替や株の世界に触れてみたいという人から、専門知識を実際に応用してみたいという人まで様々な地点の人がいるため、専門分野に詳しくない人だけ取り残されて、その人が仕事を任されても何をしたいかわからないという状況に陥りかねないからです。これでは、グループ全体としてうまく機能しているとは言えず、結局誰にとっても好ましくない状況を作り出してしまいます。

そして、次に自分に任された仕事は責任をもってしっかりと遂行しなければなりません。グループ内で決められたルールなどを厳守し、お互いが責任を果たさなければグループ全体の進行が滞るばかりでなく、グループ内の雰囲気も気まずくなります。ここは、個人の責任に任されている普段の授業とは違う点ですので、十分認識しておく必要があるかと思えます。

最後に、自らが積極的にグループにコミットし貢献しようという意識を持たなければならないということです。すなわち、これはモチベーションを維持せよということです。モチベーションが低下すれば、グループでも受身の立場になり仕事を振られてもやる気が起きず、仕事が苦痛になってきます。そうなれば、仕事の完成度も適当でほかのメンバーを困らせることになってしまいます。こうなってしまうグループとしてはいいほうかもしれません。

以上あげた3点はどれも当たり前のことばかりですが、すべて私が1年間グループワークを通して感じた反省点です。私の班は、一人が膨大な作業量をこなし、一人が仕事を全くせず途中脱落していきました。この授業の価値を最大に生かすためにも、私たちの班を反面教師として頑張ってください。

## 6. 対外活動の記録

どのチームも、真剣に立ち向かい、その取り組みにはさほど優劣はなかったと思います。結果は時の運もありますが、以下のように新聞にも掲載されたり、賞をいただいたりしましたので簡単に紹介します。

これらを通じて非常にエキサイティングな1年間を過ごせたのではないかと思います。

### <2012 年度>

#### 1) 第13 回日経ストックリーグ (チーム戦)

株式運用コンテストにおいて、参加チームのうち2チームが論文審査で入選しました。

<http://manabow.com/sl/result/13/index.html> に掲載

大学参加 610 チームのうち、入選以上はわずか 25 チーム。大学1、2年生のみからなるチームとして最高です。

### <2009 年度>

#### 1) 第10 回日経ストックリーグ (チーム戦)

株式運用コンテストにおいて、参加チームのうち1チームが論文審査で「審査員特別賞」を受賞しました。

<http://manabow.com/sl/result/10/index.html> に掲載

大学参加 826 チームのうち、大学1・2年生のみからなるチームとして最高です。

[http://manabow.com/count/pdf\\_sl100658.html](http://manabow.com/count/pdf_sl100658.html)

### <2008 年度>

#### 1) 円ダービー第8 回学生対抗戦 (チーム戦：参加全国 467 チーム)

6 月末円ドルレート予想において、参加チームの1つが、独自の予想方法を工夫したチームに贈られる「ユニーク賞 (優秀賞)」を受賞しました。(『日本経済新聞』2008 年7 月20 日(日) 第15 面に掲載。)

#### 2) 第9 回日経ストックリーグ (チーム戦)

株式運用コンテストにおいて、参加チームのうち2チームが論文審査で入選しました。

<http://manabow.com/sl/result/9/nyusen.html>

大学参加 865 チームのうち、入選以上はわずか 21 チーム。大学1、2年生のみからなるチームとして最高です。

### <2007 年度>

#### 1) 第8 回日経ストックリーグ (チーム戦)

株式運用コンテストにおいて、参加チームのうち1チームが論文審査で入選しました。

<http://manabow.com/sl/result/8/index.html> に掲載

大学参加 876 チームのうち、入選以上はわずか 18 チーム。大学1、2年生のみからなるチームとして最高です。

### <2006 年度>

#### 1) 第7 回日経ストックリーグ (チーム戦)

株式運用コンテストにおいて、参加チームのうち1チームが論文審査で「敢闘賞」を受賞しました。

<http://manabow.com/sl/result/7/index.html> に掲載

大学参加 809 チームのうち、大学2年生のみからなるチームとして最高です。

<http://manabow.com/sl/result/7/sl-700527.html>

### <2005 年度>

#### 1) 円ダービー第5 回学生対抗戦 (チーム戦：参加全国 411 チーム)

6 月末円ドルレート予想において、参加チームの1つが、独自の予想方法を工夫したチームに贈られる「ユニーク賞 (優秀賞)」の次点として大学参加チームの中から唯一、紙面においてコメントを受けました。(『日本経済新聞』2005 年7 月17 日(日) 第25 面に掲載。)

#### 2) 第6 回日経ストックリーグ (チーム戦)

株式運用コンテストにおいて、参加チームのうち1チームが論文審査で「敢闘賞」を受賞しました。

<http://manabow.com/sl/result/6/index.html> に掲載

大学参加 763 チームのうち、大学1、2年生のみからなるチームとして最高です。

<http://manabow.com/sl/result/6/sl-600519.html>

### <2004 年度>

#### 1) 円ダービー第4 回学生対抗戦 (チーム戦)

5 月末円ドルレート予想において、参加チームの1つが、全国 473 チーム中、23 位に入賞 (予測誤差 15 銭) しました。(『日本経済新聞』2004 年6 月6 日(日) 第29 面に掲載。)

#### 4) 第5 回日経ストックリーグ (チーム戦)

株式運用コンテストにおいて、参加チームのうち3チームが論文審査で入選しました。

<http://manabow.com/sl/result/5/nyusen.html> に掲載

大学参加 779 チームのうち、入選以上はわずか 30 チームです。